

ショップが感じる 車両盗難!



ETCカードの抜き忘れにも要注意。このあたりは出来心的な犯罪が多く、被害件数は相当数に及んでいる。

年々、数字で見る“車両盗難被害件数”は減り続けているが普段、現場で数多くのユーザーと接しているプロショップでは現状をどう感じているのか、実際の所を聞いてみた
文/神津晴寿



今、最も狙われやすいのがカーナビ。特にアフターマーケット製品が危ないとのことだ。一度狙われると、被害額が膨らんでしまうのが車上狙いの特徴。

クルマが盗まれた先に さらに「被害」があった

警察庁や損害保険協会から毎年発表される車両盗難や車上狙い、二輪車盗の認知件数。この数字はある時期になると機械的に集計されているモノだが、犯罪を間近で見ているショップではどのような感じているのだろうか。被害件数は年々減っては来ているが、実際の所は…。こんな話を、長年インストラーとして活躍し、数々の被害車両を見てきたジェットサウンドの内山氏に聞いてみた。

「そうですね、一時に比べると高級車が盗まれる台数が減りましたね。今はなんといってもハイエースが盗まれています。100系、200系、商用、ワゴン問わず。これは全国的な傾向だと思いますよ。ココで問題なのが、盗まれるのがクルマだけではないってこと。ハイエースは職人さんが荷室に道具を満載して使っていることが多いので、クルマが取られてしまうと道具もごっそりとなくなってしまう

う。実際、クルマよりも積んでいるモノの方が高いんですよ。クルマはいいいから中身は置いていって欲しい…というのが本音のようですよ。お客さんに職人や運送屋さんがいますが、中身は降ろしておいて！とアドバイスしています。他に最近目立ってきているのはブラドのディーゼル車。今では新車価格よりも高値で取引されていますからね。もしかしたら100よりも盗まれていくんじゃないですか？あと無視できないのが車上狙い。コレは車種関係なくやられています。やはりナビ狙いがメイン。ナビを盗られるとそれに付随するガラス、インパネなどの修理代がかなりかさみますからね。被害額は甚大ですよ。この辺は警察庁が発表する数字には表れてないでしょうね。」

日本の安全神話は、ことクルマに関していえばそろそろ通用しなくなってきたのでは？というのが内山氏の見解だ。まだまだ安全といわれる日本だが、そろそろ意識改革が必要な時が来たといえる。



ジェットサウンド
内山 琢也 さん

インストールの指導や講演を数多く行っている業界のリーダ的存在。「常にユーザーの立場に立ってシステムを…」をモットーに日々インストールに取り組んでいる。

TEL.0270-30-3766
<http://www.jetsound.jp>